社会福祉法人ＫＴＫ福祉会　地域密着型特別養護老人ホーム ルグネット岩ケ崎
介護保険業務システム導入等に係る仕様書

１、目的

当法人で運営する地域密着型特別養護老人ホーム ルグネット岩ケ崎（平成27年9月1日開所予定）で実施する介護サービス（次項、「2 対象事業および業務」を参照）に関して、業務効率化を図るため福祉業務支援システムを構築する。

２、対象事業および業務

（１）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の介護請求および利用者への請求
（２）当施設内のベッド利用状況の管理、
（３）施設ケアマネジャー（または相談員）によるケアプランの作成
（４）ユニットケアを実施する際に使用する２４ｈシートの作成
（５）当施設内で行われる日々の記録、日誌・報告書作成業務
（６）当施設内で行われる栄養ケア計画書作成業務
（７）入居者からの預り金の管理業務

３．納入期限

平成 27 年 8 月 17 日

４、納入場所

社会福祉法人ＫＴＫ福祉会　ルグネット岩ケ崎（宮城県栗原市栗駒岩ケ崎下川原 19 番地）

５、システム基本要件

（１）福祉業務支援システムを構築するにあたり、ソフトウェアのセキュリティ対策に配慮するなど、利用者の個人情報の取り扱いに十分注意すること。
（２）ソフトウェアについては、５年間分の費用とすること。その内容には初期の導入説明、作業費などを含むものとする。また、次年度以降のソフトウェアに関する保守料金や、今後予想される制度改正等に伴う費用は発生しないものとする。
（３）上記（２）以外で、発生する費用については、事前に内容を明記すること。

６、ネットワークの構成

（１）施設内にサーバーおよびクライアントパソコンを設置しシステムを運用するものとする。サーバーには，対象業務の全ての情報を集約する。また、各クライアントでは導入した全システムの運用が可能なこと。
（２）サーバーおよびパソコン設置台数は下記の通りとする。
サーバー：１台／クライアント：ＰＣ　７台、Ｉｐａｄ　３台

７、システム保守

システム保守については、次の条件を満たすものとする。

（１）システム保守時間

土曜、日曜、祝日を除く、９：００～１７：３０を基本とする。

（２）保守作業内容

提案システムを維持管理するため、電話・ＦＡＸでの対応に加え、必要に応じたリモートメンテナンスのサポート体制を講じること。

８、導入するシステムの要件

システムには次にあげる機能を有するものとする。

区分	機能概要
共通項目	実施予定、もしくは今後実施する可能性がある全介護サービスの業務に対応するシステム
	今後複数の事業を実施した際に、複数サービスを併用して利用している利用者がいた場合、情報登録を省力化するため、基本情報の共有および一元管理が可能。
	日々の運用において、複数の業務を同時にできるよう、システムを即座に切り替えることが可能。
	帳票印刷のミスを抑えるため、確認用の印刷イメージをプレビュー表示できる
	導入システム以外のソフトウェア（word や Excel など）を、同じパソコンで併用運用できる
	セキュリティについて、職員毎、部署毎にシステムの使用権限を設けることができる
	セキュリティについて、「登録」「使用不可」「閲覧のみ」の使用権限を設けることができる
	全てのクライアントパソコンで導入したシステムを制限無く使用することができる。また、セキュリティの管理で、職員毎に使用制限を付けることができる
	マスタ登録をする際、入力画面から直接マスタ登録画面を起動できる。
	MMWＩＮみんなのみやぎネットへのデータのアップロードが可能。
利用者台帳関係	生活状況や日常状況などを管理でき、項目は自由に設定することができる
	利用者や住環境の写真が取り込みできる
	家系図の作成を別途ツール購入せずシステムで行える
	利用者名の検索を漢字、被保険者番号など複数の方法で検索ができる
	請求に最低限必要な項目のみに絞って一覧で登録する機能がある
	統計資料を確認する際、画面上で集計後に該当する利用者を把握できる
	統計を処理する際、任意に項目や定義を設定し、統計帳票出力をすることができる
	必要な情報を任意で選択し、CSV 形式にて出力することができる
	利用者の誕生日一覧表を印刷することができる
	フェースシートについて、印刷したい項目を任意で選択し、さらに表示順を任意で設定することができる。また、設定内容は予め複数登録しておくことができ、印刷時に選択することができる
	利用者毎に作成された、word や Excel、画像ファイルなどについて、利用者毎に関連付けてファイルを管理することができる

	各利用者の病歴を登録する際、あらかじめ設定された ICD10 コードに準拠した病名を選択することで登録することができる
	画面上で、介護保険の認定情報の有効期限が終了している利用者、もしくは、終了間近の利用者について、システム側で自動的に警告を表示することができる
請求全般	全ての介護サービスの介護保険請求・利用料請求ができる
	今後複数の事業を実施した際に、複数のサービスを併用する利用者へ、利用料を合算して１枚の請求書として請求することができる
	ファームバンキング（銀行の自動引き落としサービス）をする場合に、利用請求データを全銀協フォーマットで出力することができる。
	利用料は施設で利用する項目を設定することができる。
	利用料項目は、任意のグループや算定要件を設定でき、設定された内容で自動算定ができる。
	利用料請求書について、サービスの提供日や利用明細、介護サービス名称、単位、回数、入金方法などを記載することができる。
	支払者が本人以外の場合、請求書の支払者宛名について、本来の支払者の氏名を記載することができる。
	支払先へ請求書を郵送する場合、送付先へ宛名シールを作成することができる。
	利用料請求の入金、未入金の管理をすることができる。
	請求の作成にあたり、返戻防止対策として、請求に関する不足情報や矛盾があった場合、エラー内容が表示される。また、その画面から修正／確認が必要な画面を直接呼び出すことができる。
	請求書の発行について、発行の順番を利用者 ID 順、もしくは５０音順等で発行することができる
	利用料請求書は、Ａ４／Ｂ５サイズでの印刷ができる。
	請求を行なった情報をもとにした統計資料が印刷できる。
スケジュール管理	部屋の利用状況をグループ毎／部屋毎の表示で確認ができる。
	部屋の利用状況を日別／月間で確認ができる。
	利用登録を行なう際に、空室に絞り込んで表示することができる。
	利用登録を行なう際に、同一画面で食事の摂取開始の登録ができる
	登録された情報をもとにして、稼働率や平均要介護度などの統計資料が印刷できる
ケアプラン	計画書１表、２表、週間計画、日課計画、モニタリング、支援経過、会議録、主治医の意見書　の登録ができる。
	宮城県版アセスメントシートの作成、登録ができる。
	認定調査表（概況調査表）を作成することができる。
	認定調査表（概況調査表）の結果を元に、一次判定をすることができる。
	各種計画書・アセスメント・モニタリング等の作成見直し期間について、次回予定の管理をすることができる。
	計画書１表に関して、文字数及び、行数の制限を設けずに、作成することができる。
	計画書１表について、承認印欄を任意で設定し設けることができる。

	計画書２表の作成について、アセスメントで登録した特記事項を、任意で選択し取り込むことができる。
	計画書２表に関して、文字数及び、行数の制限を設けずに作成することができる。
	計画書２表について、承認印欄を任意で設定し設けることができる。
	計画書２表について見直しをかける際に、登録された課題内容の順番を変更したい場合に、優先順位に基づいて順番を変更することができる。
	計画書ついて、登録された文章が自動的に文例集に保存することができる。
	モニタリングについて、項目名や枠の変更が職員で行なえる。
	モニタリングを作成する場合、計画書２表の課題内容、短期目標、サービス内容を取り込むことができる。また、短期目標毎、サービス内容毎にモニタリングを登録することができる。
	支援経過の登録、作成をすることができる。
	支援経過を印刷する際、任意で期間を設定し印刷することができる。
	担当ケアマネ別に利用者を絞り込み、表示することができる。
２４Ｈシート作成	２４Ｈシート作成にあたり、利用者への聞き取り項目が実装している。
	聞き取りした内容を登録することで、２４Ｈシートの「生活リズム」や「本人のできること」へ連動される。
	２４Ｈシートを作成すると、自動的に一覧表へ連動され、常にユニットごとの最新の一覧表が確認できる。
栄養ケア業務	栄養ケアに関するスクリーニング、アセスメント、モニタリング、計画書作成ができる
	計画書について、アセスメントなどで登録された内容の取り込みができる
	介護度別栄養リスクグラフや体重グラフなどの統計資料が印刷できる
預り金業務	一人の利用者に対して、通帳と小口など複数の預り金の管理ができる
	入金、出金について、利用者ごとの登録や任意の利用者に対しての一括登録など、状況に応じた登録方法がある
	入金、出金について、適用内容については予めマスタとして登録することができる
	施設で立替を行なった際の登録ができる
	登録された通帳や小口現金ごとの残高表が印刷できる
	利用者ごとに月間の入出金の確認ができる出納表の印刷ができる
記録業務	バイタル、入浴、食事、排せつ　などの記録ができる。
	登録については、利用者毎／複数利用者の一括登録など、状況に応じた登録方法が選択できる。
	排泄方法や食事摂取量、入浴方法、摂取水分種類などは、予め設定された項目から選択することで登録ができる。
	バイタルや食事摂取などの基本項目を登録時に、ボタンひとつでケース記録に転記できる。
	登録された内容は、利用者毎／日別で確認ができ、登録画面からの表示切替ができる
	日誌、報告書などの作成ができる
	日誌、報告書について、様式の作成／変更が可能で、尚且つ職員が作成／変更作業を実施できる。

	日誌、報告書について、項目ごと連動設定を行なうことができ、一度システムに登録した内容は取り込むことができる。
	登録された内容をもとにした、バイタルグラフや事故状況などの統計資料が印刷できる

９、機器について

ソフトウェア導入に際した必要な機器は、当法人が指定する会社からの調達とする。そのため、機器構成やスペックについては、当法人が指定する会社とソフトウェア販売会社が協議の上、運用に問題がない構成を提案するものとする。

１０、その他

但し、上記仕様書に該当しない項目があったとしても、当法人が同等若しくは業務上支障が無いと判断した場合は仕様書の限りではない。